

明治維新150年記念
「蛤御門の変」からの復興を描く「明治元年の六角堂・池坊」
花人にリアルな時代を映す「幕末～明治時代の花人 近藤春彦」特別展示

2月10日(土)～11日(日) / 池坊会館「いけばな資料館」(入場無料)

華道家元池坊は、今年が明治維新150年にあたることを記念して、幕末の京都で勃発した「蛤御門の変」からの復興を貴重な史料で描く記念展示「明治元年の六角堂・池坊」を池坊会館内「いけばな資料館」にて開始しました。

これに関連して、当時の池坊で活躍した花人・近藤春彦にスポットをあて、花人の活動を通してリアルな時代を描く特別展示「幕末～明治時代の花人 近藤春彦 ～家元に仕えた生涯」を2月10日(土)～11日(日)限定で行います。

当日は、**東京へ行幸する天皇を見送りながら安全を祈った史料、京都博覧会に出瓶した史料**など、幕末から明治の京都を体感できる貴重な史料約20点を一挙に公開します。

この機会にぜひ、ご覧ください。以下に概要をご案内します。



「蛤御門の変」で焼失した伽藍の再建計画を記した
「六角堂頂法寺惣境内分間絵図」

※当リリースの写真は以下サイトにて、ダウンロード用jpgデータをご用意しています。
TMオフィスサイト <http://www.tm-office.co.jp> (「TMオフィス」で検索) トップページ左
「報道用画像データ」 ID:press PW:press

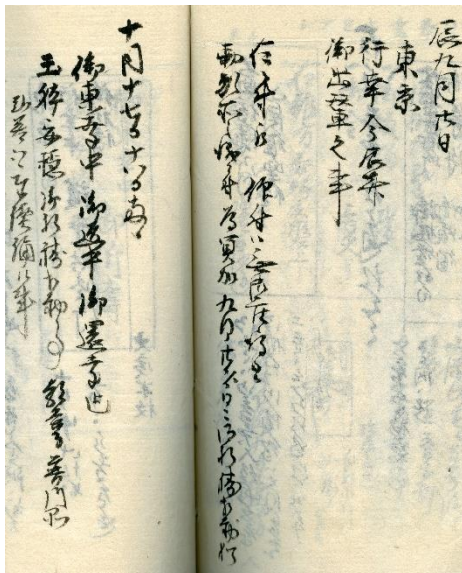
「明治元年の六角堂・池坊」概要

明治元年（1868年）、六角堂では4年前の1864年に勃発した「蛤御門の変」で焼失した伽藍の復興が行われていました。そこに江戸幕府の滅亡と新政府の成立という大改革が襲いかかりました。しかし華道家元である六角堂住職の池坊専正は、花をいけ続けました。記念展示「明治元年の六角堂・池坊」では六角堂の再建に関する史料をはじめ、激動の時代の中でも花会を行い、東京へ行幸する天皇の安全を祈った池坊の活動を貴重な史料で紹介します。

◆開催期間 2018年10月まで公開予定

◆展示内容

- ・六角堂の復興中に花をいけ、門弟の花会に赴く様子を今に伝える史料
「松竹梅集」「専正生花集」「守山宿旅中雑記」
- ・六角堂の再建事業を今に伝える史料
「瓶道雑記」「御本尊并靈物為拝（おがませ）記」
- ・新政府との関係を構築し、東京へ行幸する明治天皇の道中安全を祈った記録
「旧幕府御朱印并事御役所得江返上之記録」「禁裡御所御寄附記」



明治天皇の東京行幸の安全を祈った記録



「蛤御門の変」で焼失し、
明治時代の再建で復興した
現在の六角堂頂法寺

期間展示「幕末～明治時代の花人 近藤春彦 ～家元に仕えた生涯」

幕末から明治にかけて華道家元池坊に仕えた花人・近藤春彦。

花をいけるだけでなく六角堂の復興や池坊の組織運営にも携わりました。

彼の活動を通して、幕末から明治のリアルな時代を貴重な史料で綴ります。

◆開催日 2018年2月10日(土)～11日(日) ※2日間限定

◆展示内容 近藤春彦の主な活動ごとに、時代をリアルに体感できる史料を公開します。

【家元代華を務める】

- ・近藤春彦席札(せきさつ)

【地方に赴き、入門を取り次ぐ】

- ・門弟仮留帳

【天保9年(1838) 江戸城で将軍への立花上覧を手伝う】

- ・御朱印御改 御代替御礼 参府記
- ・家元四十一世専明瓶華之集

【安政6年(1859) 妙心寺の法要で生花をいける】

- ・立華並活花之個所

【万延2年(1861) 知恩院の法要への立生花調進を差配する】

- ・智恩院圓光大師六百五十回御忌勅会御花調進之姓名
- ・都林泉名勝図会

【文久4年(1864) 東本願寺への将軍御成を迎える立生花について交渉する】

- ・東本願寺御花之記
- ・専正立生華集

【明治5年(1872) 西本願寺で開催された京都博覧会に砂物を出瓶する】

- ・博覧会立華之記
- ・木版控

【当時の六角堂境内 元治元年(1864)に焼失した諸堂の再建事業が進行中】

- ・六角堂頂法寺惣境内分間絵図



近藤春彦席札

《本件に関するお問い合わせは、下記までお願いします》

池坊中央研究所 細川 TEL/FAX : 075-221-2879
株式会社TMオフィス 馬場・石原 TEL : 06-6231-4426 FAX : 06-6231-4440
E-MAIL : ikenobo@tm-office.co.jp